



■QOLの概要と算出方法

2021.4.22

1. QOLとは

(1) QOLとは

QOL (Quality of Life) は「人生の質」、「生活の質」などと訳されることが多く、私たちが生きる上での満足度をあらわす指標のひとつです。医療・教育などさまざまな分野で注目・活用され始めています。まだまだ一般的な言葉として浸透していない部分もあります。

(2) 尺度の選択

QOL 尺度は様々な国が様々な特徴をもったものを開発しています。本業務では、健康関連 QOL のひとつである、SF-36 (Short-Form 36-Item Health Survey) を使用して検証を行っています。SF-36 は包括的尺度であり、健康人から様々な疾患を持つ人々に共通で使用でき、対象者の視点に立った健康度やこれに伴う社会生活機能を捉える事が可能です。

この尺度はまた、本業務のアドバイザーである九州産業大学 橋元先生が健康遊具の QOL に使用した尺度であります。

2. 手法

(1) 製品の選定

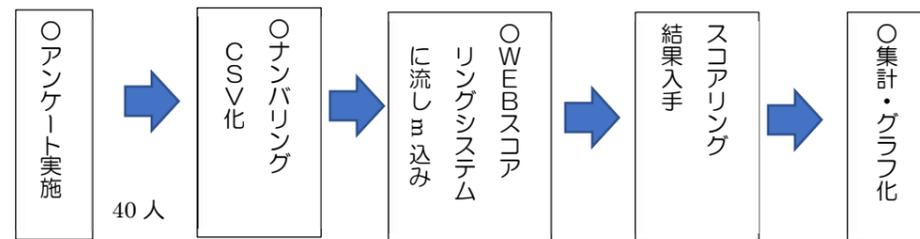
アドバイザーの了承のもと、iHope International 株式会社の SF-36V2 日本語版を使用しました。利用目的、アンケート対象者数で価格が異なります。

このシステムは、アンケート結果を web スコアリングプログラムにて数値化可能です。

価格は延べ人数 80 人で 17 万程度でした。(ライセンス有効期間は 3 年です)

(2) 調査分析の流れ

測定には、検証する事象について、実施、未実施の 2 群に分けるか、1 群を実施前、実施後とし、期間をおいて 2 度スコアリングすることになります。(この場合は同一被験者を 2 回となります) 今回は健康遊具設置に係る QOL 検証のため後者としています。



2 回目は、期間を置いて、健康遊具に関する教室やイベントが開催された後に実施予定としておりました。(実際はコロナの影響で実施できませんでした)

(3) サマリースコア

SF-36 は文字通り 36 の設問を重みづけをした上で、8 つの下位尺度によって集約し分析するものですが、やや判断が難しい部分がありました。3 コンポーネント・サマリースコアでは 2002 年日本全国調査から得られた係数を用い、3 つの側面に集約します。PCS と MCS、RCS は 2017 年日

本国民標準値の平均値を 50 点、標準偏差を 10 点としてスコア変換を用いて標準化したものです。

3. 参考調査結果

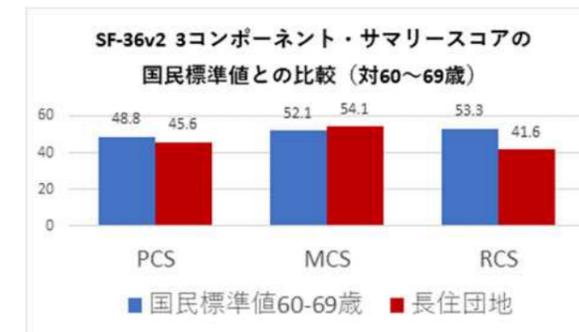
(1) 出力結果 (参考)

長住団地では自治会の協力を得て、約 20 のサンプルを得ることができました。

No.	ID	PF	RP	BP	GH	VT	SF	RE	MH	3PCS	3MCS	3RCS	
1	naga1		55	75	52	47	37.5	50	100	65	35.4	44.7	53.1
2	naga2		90	100	84	52	81.3	87.5	100	75	48.7	53.9	57.1
3	naga3		100	87.5	84	67	81.3	62.5	100	50	61.6	50.6	44
4	naga4		85	100	62	57	62.5	50	91.7	75	50.6	49.1	49.2
5	naga5		85	100	61	52	81.3	100	100	90	38.7	56.7	63.3
6	naga6		65	81.3	100	72	81.3	75	83.3	90	44.3	67.8	43
7	naga7		95	81.3	84	77	62.5	87.5	91.7	80	53.9	57.6	47
8	naga8		70	75	52	45	50	87.5	50	50	40.6	46.8	45.6
9	naga9		70	62.5	52	52	50	62.5	75	50	42.5	47.1	43
10	naga10		80	62.5	62	52	50	62.5	75	60	46.3	48.9	41.9
11	naga11		60	18.8	31	20	50	0	25	55	35.6	49.4	17.4
12	naga12		55	18.8	41	57	50	75	0	50	34.6	60	18.3
13	naga13		75	81.3	100	62	75	100	100	95	41	64.3	55.1
14	naga14		75	62.5	52	52	50	50	50	65	45.2	51.2	33.9
15	naga15		95	100	72	72	75	37.5	100	95	56.2	57.7	44
16	naga16		95	75	52	52	50	50	41.7	50	56.9	44.6	31.8
17	naga17		70	56.3	84	77	62.5	50	83.3	90	46	65.2	34.1
18	naga18		80	81.3	64	80	81.3	62.5	75	85	48.4	64.2	38.5
19	naga19		50	68.8	52	52	43.8	50	33.3	45	41.2	48.5	31.7
											54.1	41.6	

(2) 長住団地の QOL コンボサマリースコア結果 (グラフ)

QOL は 3 コンボサマリースコアにて国民標準値と比較しました。(2017 国民標準値 (60~69 歳) と比較) 現時点では、MCS 以外は標準値を下回っています。



※3 コンボサマリースコアとは、アンケート結果を基に 8 つの下位尺度から、アジア諸国の気質を考慮した総合判定方法で、肉体的健康 (PCS)、精神的健康 (MCS) の 2 つに社会的健康 (RCS) を加えて健康を評価するものです

アンケート結果 (抜粋)

4. 今後の展望

(1) QOL の検証について

施設の整備に加えて、定期的な利用教室等の実施がおこなわれることで、コミュニティが形成されやすく、結果として、QOL の数値があがると思われます。(ソフトとの連携が重要です)

(2) 今後の展望

ハードの整備と教室などのソフトウェアの整備によって満足度が上がることは想像できます。今後は整備前に SF-36 を実施し、整備後の運営を積極的に実施したグループとそうでないグループの比較など、様々な比較をおこなうことで、QOL の向上がなるか、検証していきたいと考えています。